

設立2年目を迎えた2008年は、当NPOの使命である「炭鉱の記憶を手がかりにした地域の再生」に向けて、活動の基盤の構築を図ると同時に、果たすべき機能の4原則（①HELP応援、②TRY先駆、③COOP協働、④LINK結節）を基本に活動を展開してきました。

事業期間中に、理事が社会的な活動を行った日数は延べ217人日です。この活動によって、約4,500人が主催事業への参加や講演の聴講などを通じて当NPOの活動の一端に触れました。

[以下、活動計画に対して：○=達成 △=途上 ×=未了 ◎=途中から新規]

■出版事業

○炭鉱の記憶ブックレットの第一弾として、『石炭博物館ガイドブック』を3月末付で刊行し、関係機関に配布するとともに、増刷して本部にて店頭販売しました。

△これまでの空知産炭地域における市民活動の経緯をまとめた『空知産炭地域の炭鉱遺産市民活動（仮題）』は、当初2008年上期に刊行を予定していましたが、2009年3月末の刊行をめざして作業を進めているところです。

×2008年下期に予定していた「そらち炭鉱マスター検定試験」の公式テキストは、後述の通り同試験の実施メドがたたないことから、当面発刊を延期し、他の刊行物の発刊準備を優先することとしました。

■検定試験事業

×炭鉱遺産への関心を呼び、また炭鉱遺産を理解するための知識を普及するため、検定試験に向けた取り組みを進める予定でした。しかし、活動体制が整わず具体化の熟度が低いと判断したため、他の活動分野へ活動資源を集中することとし、本事業に関しては具体的な活動を展開できませんでした。

■炭鉱遺産ツアー事業

○昨年から引き続き、札幌市立大学デザイン学部の教員・学生との協働により、誘導サインのテストパターン作成を行いました。3月に赤平市で開催された「寄り道の駅」で実証実験を行うなど、回遊促進に関する知見を蓄積しました。この成果は、2009年度に空知支庁が実施予定のサインシステム検討に生かされます。

○空知支庁の独自事業と連動して、夕張市清水沢地区で、7月にタウンウォッチング、10月に炭住公開を開催しました。その成果は、空知支庁で策定中の活性化戦略へ反映されるとともに、札幌国際大学大学院の研究テーマとしての分析や学会発表、ガイドコンテンツ作成への展開など、多方面に活用しました。

◎iPodガイドコンテンツづくりの企画に対して、秋山生命科学振興財団から助成金（50万円）を頂きました。これは、来訪者の回遊を促進、元炭鉱マンが語り手として出演することによる社会参加、埋もれた史実の発掘、NPOの収益源など、多方面の効果を得ようとするもので、今年度は実際にコンテンツを作成し、システム設計の知見と効果を測定しました。コンテンツは3本（①幌内炭鉱景観公園の解説、②幌内炭鉱の労働経験の語り、③送電線網保守の語り）が完成しており、4月からの公開に向けて準備を進めています。

○8月には、北炭幌内立坑の解体問題が発生しました。他の団体と共同で保存に向けて取り組み、早急な解体は回避されました。しかし、今後も予断を許さない状況にあることから、空知支庁が策定する地域戦略での保存活用策と連動した取り組みが不可欠です。

○各組織・団体の求めに応じて、様々な形態で現地ガイドや講演を行いました。

△夏に開催が検討されていた三笠市の幌内炭鉱景観公園でのインスタレーション（架設展示）が先送りとなったため、アートをテーマにした地域再生に関する具体的な取り組みは展開できませんでした。しかし、アート関係者との関係構築を図り展開の道筋を探ったことにより、2009年度に東京都目黒区美術館が開催する炭鉱企画展との連携など、アートをテーマとした活動展開への道筋が得られつつあります。

×冬季閑散期対策として、炭鉱の食をテーマとしたイベントの開催を検討していましたが、体制が整わず実施を見送りました。

■石炭博物館学術支援事業

○大学の研究者と連携して、アーカイブス構築と資料整理についての道筋を検討しました。特に急務となっている、収集保管されている資料の劣化対策（東海大学水島教授を中心とするチーム）、地域に埋没している資料はサルベージと保存体制の構築（札幌学院大SORDプロジェクト・千葉大学中澤准教授を中心とするチーム）に取り組んでいます。

×石炭博物館の学術的機能を充実するため、業務分担の可能性について指定管理者との話し合いを希望していましたが、指定管理そのものの体制変更もあって、その機会を得ることができないまま推移しました。

■市民団体連携事業

○2007年に引き続き空知支庁の独自事業「空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議」へ積極的に参画し、炭鉱遺産をテコにした地域振興政策の樹立を目指しました。2008年度末にはこの戦略がとりまとめを終えることから、2009年度から実現に向けた取り組みが本格化します。

○各種会議への出席や講演依頼に対して積極的に対応し、地域内外のネットワーク強化を図りました。3月には、道庁観光のくにづくり推進室が策定していた産業観光政策についてのフォーラムが開催されましたが、この実施をコーディネーションすることによって、小樽・室蘭との関係づくりの端緒ができました。また、設立2年次に入り、NPOの社会的認知度が高まりつつあります。

△ナショナルトラスト方式の導入について検討し、NPOの実行能力に応じた対象・条件が整う場合には、その具体化を目指すこととしていましたが、機が熟すのを待っている段階にあり、幌内変電所の権利関係調査を行った程度で十分な活動を行うことはできませんでした。

■会務

○定款第22条で執行機関として定められている運営委員会を毎月開催し、会務執行の円滑化を図りました。理事会は、活動方針を検討する機関として位置づけられていますが、各理事が離れており十分に開催することができなかったことから、次期役員改選では役員構成上の配慮が必要と考えます。

△会員サービスの向上については、ニューズペーパーの発行やホームページの整備を行うとともに、出版物の無償配布を行いました。1年次からみると少なからず向上しつつありますが、まだ十分にできているとは言えず、今後、継続して取り組むべき課題です。

×独立事務所の開設については、独立事務所は、当初、資料展示と事務局機能の移転を主眼に考えていましたが、時期尚早として具体的に着手しませんでした。ここ1年の活動を通じて、地域内外の情報・ヒトが集積するマネジメント拠点を構築する必要性を感じており、空知支庁の地域戦略でも位置づけられていることから、アクセス性の良い立地環境での拠点形成について検討すべき時期にきています。

■活動日誌

月	日	内容	場所
1	9	東海大学文学部水島准教授との打合せ	夕張市
	10	夕張石炭博物館ガイドブック作成打合せ	夕張市
	11	第1回理事会	岩見沢市
	11	夕張青年会議所新年交礼会	夕張市
	15	産業観光委員会	札幌市
	19	石炭博物館ガイドブック作成打合せ・写真仮撮影	夕張市
	23	監査	札幌市
	25	北海道炭鉱遺産ファンクラブ 写真コンテスト立会	札幌市
	25	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
	30	J R北海道輪友会講演	札幌市
	31	岩見沢青年会議所太田氏・今村氏らと意見交換	札幌市
2	2	第1回定時総会	夕張市
	12	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観WG）	岩見沢市
	14	産業観光委員会	札幌市
	15	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
	16	川俣正展「通路」カフェトークに出演	東京都
	16	東海大学文学部水島准教授との打合せ	東京都
3	3	川俣正展「通路」コールマイン研究室・ミニトークにゲスト参加	東京都
	2	赤平寄り道の駅	赤平市
	5	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（合同調査会議）	滝川市
	6	札幌学院大学ウェールズワークショップ	江別市
	7	札幌学院大学ウェールズワークショップ（夕張現地案内）	夕張市
	7	都市環境デザイン会議フォーラム	夕張市
	8	北海道炭鉱遺産ファンクラブ年次総会	札幌市
	9	三笠市の市民劇団「湖」札幌公演を参観	札幌市
	10	川俣正展「通路」コールマイン研究室・菊地氏と打合せ	札幌市
	11	石炭博物館写真撮影	夕張市
	11	赤平ワークショップ検討会	滝川市
	12	産業観光委員会	札幌市
	14	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（戦略会議）	札幌市
	17	北海道総合研究調査会「しゃりばり」取材	札幌市
	19	夕張国際ファンタスティック映画祭（～3/24）	夕張市
	19	札幌法務局岩見沢支所に保存登記	岩見沢市
	21	岩見沢青年会議所月例会にパネリスト参加	岩見沢市
22	映画「三池」上映会	三笠市	
26	道庁観光・空知支庁共催の産業観光フォーラム	岩見沢市	
31	秋山記念生命科学振興財団・社会貢献活動助成の申請書提出	札幌市	
4	3	ウェールズグラウンドワーク関係者現地案内	赤平市・三笠市
	4	ウェールズグラウンドワークフォーラム	岩見沢市
	12	FMノースウェーブ「STATION DRIVE SATURDAY」に出演し広報	札幌市
	12	北海道環境財団辻井理事長と打合せ	札幌市
	15	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
	15	北海道生産性本部南氏と打合せ	札幌市
	19	I S B N出版者記号取得（9901487）	—
	22	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（戦略会議）	札幌市
5	7	北海道炭鉱遺産ファンクラブ高橋事務局長と打合せ	札幌市
	13	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
	14	書籍JANコード使用登録（418946号）	—
	15	郵便振替払込書の私製承認番号取得（小第13712号）	—
	22	活動打合せ	赤平市
	24	日本造園学会全国大会でポスター展示（～5/25）	札幌市
	25	日本造園学会全国大会でミニフォーラム「アートによる炭鉱遺産空間と地域の再生」	札幌市
	27	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
28	空知支庁地域政策に対する懇談会	赤平市	
6	1	幌内景観公園学生ワークショップ	三笠市
	10	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（戦略会議）	芦別市
	11	秋山記念生命科学振興財団社会貢献活動助成決定（500千円）	—
	19	iPodガイドシステム打合せ	札幌市
	22	榎本武揚没後100年記念行事	小樽市
	23	第1回運営委員会	岩見沢市
	27	北海道炭鉱遺産ファンクラブ高橋事務局長と打合せ	札幌市
29	iPodガイドシステムテスト版ロケ	三笠市	
7	6	清水沢タウンウォッチング	夕張市

11	空知支庁事業に関する打合せ	札幌市
15	川俣正ワークショップ	三笠市
16	コールマイン研究室菊地氏、東海大学水島氏ら現地案内	三笠市他
23	空知支庁事業歴代担当者の集い	札幌市
25	市民活動パネル展にパネル展示	札幌市
26	第6回線路の灯り展	三笠市
28	第2回運営委員会	岩見沢市
29	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観/三笠WS）	三笠市
29	清水沢タウンウォッチング専門家分析会議	岩見沢市
30	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観/赤平WS）	赤平市
8	7 地域政策総合補助金内定通知（700千円）	－
9	9 地方自治土曜講座で講演・報告・パネルディスカッション出演	札幌市
9	9 夕張石炭フォーラム（～8/11）	夕張市
11	11 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
14	14 変電所写真展（～8/17）	三笠市
18	18 JICA観光政策研修で炭鉱遺産保全活用について講義	札幌市
19	19 第10次ルール地域視察（～8/25）	Gelsenkirchen他
26	26 幌内立坑保存要望書を提出するため佐藤副知事を訪問	札幌市
9	2 第3回運営委員会	岩見沢市
2	2 北海道中央労災病院 第2回じん肺患者勉強会聴講	岩見沢市
2	2 北海道炭鉱遺産ファンクラブ高橋事務局長と打合せ	岩見沢市
3	3 幌内立坑保存に関する打合せ	三笠市・岩見沢市
7	7 そらち賛炭フェスティバル2008に出店	芦別市
9	9 幌内立坑保存に関する要望書を道議会へ提出	札幌市
10	10 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観/赤平WS）	赤平市
12	12 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観/三笠WS）	三笠市
16	16 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（合同WG）	札幌市
18	18 幌内立坑保存に関する打合せ	札幌市
26	26 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
29	29 北海道中央労災病院 第3回じん肺患者勉強会で講演	岩見沢市
30	30 清水沢炭住公開事業打合せ	夕張市
30	30 iPodガイドシステムテスト版打合せ	札幌市
10	4 日本建築学会北海道支部講演会・見学会	夕張市
5	5 日本ジャーナリスト会議全国交流集会パネル討論	夕張市
5	5 朗読劇「あなたの知らなかった夕張」プロデューサー武藤氏訪問	札幌市
7	7 清水沢炭住公開事業打合せ	夕張市
7	7 第4回運営委員会	岩見沢市
14	14 清水沢炭住公開事業打合せ	夕張市
18	18 北海道中央労災病院 じん肺患者勉強会フィールドワーク	三笠市
18	18 J R北海道鉄道記念の日イベント	岩見沢市
19	19 清水沢炭住公開	夕張市
20	20 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
23	23 iPodガイドシステム（北炭幌内鉱磯野氏編）ロケ	三笠市
24	24 札幌学院大学コミュニティカレッジ講演（I B Aエムシャーパーク）	札幌市
29	29 東海大学水島准教授と映像アーカイブスについて打合せ	札幌市
11	2 幌内立坑櫓現地調査	三笠市
4	4 第5回運営委員会	岩見沢市
5	5 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観WG）	岩見沢市
6	6 赤平神社井上氏ら文月会（若手神職の会）メンバーと会合	札幌市
8	8 筑波大学鈴木教授・三友準研究員と特別講義の打合せ	札幌市
11	11 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
13	13 iPodガイドシステム（北炭電力所小西氏編）ロケ	夕張～三笠市
15	15 炭鉱遺産と落語の集いで講演	三笠市
17	17 筑波大学芸術体育学群で炭鉱遺産空間についての特別講義	つくば市
17	17 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観/赤平WS）	赤平市
19	19 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（景観/三笠WS）	三笠市
23	23 日本観光研究学会全国大会で研究発表	上田市
12	1 空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議（炭鉱遺産WG）	札幌市
3	3 東海大学水島准教授と映像アーカイブスについて打合せ	札幌市
4	4 第5回運営委員会	岩見沢市
6	6 炭鉱遺産と落語の集い	赤平市
11	11 北海道炭鉱遺産ファンクラブ高橋事務局長と打合せ	札幌市
13	13 活動打合せ	標茶町
29	29 ホームページ全面更新	－

第2号議案 2008年度収支決算報告、監査報告

2008年 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2008年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	0	
銀行預金	602,670	
郵便振替口座	22,000	
流動資産合計		624,670
2 固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		624,670
II 負債の部		
1 流動負債	0	
流動負債合計		0
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		624,670

2008年 その他事業会計 財産目録

2008年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

該当事項なし

2008年 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2008年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	0	
銀行預金	602,670	
郵便振替口座	22,000	
流動資産合計		624,670
2 固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		624,670
II 負債の部		
1 流動負債	0	
流動負債合計		0
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
1 前期繰越正味財産		359,226
2 当期正味財産増加額		265,444
正味財産合計		624,670
負債および正味財産		624,670

2008年 その他事業会計 貸借対照表

2008年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

該当事項なし

2008年 特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

2008年1月1日～2008年12月31日

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位：円

科 目	金 額	備 考 (千円)
I 経常収入の部		
1 会費収入	532,000	運営会員37名、一般会員115名、賛助会員2社
2 事業収入	1,059,500	
3 寄付金収入	19,000	
4 補助金収入	500,000	空知支庁500
5 助成金収入	500,000	秋山生命科学振興財団500
6 受取利息	602	
7 その他事業からの繰入金	0	
経常収入合計①	2,611,102	
II 経常支出の部		
1 事業費		
出版事業	600,773	
検定試験事業	0	
炭鉱遺産ツアー事業	1,092,671	
石炭博物館学術支援事業	351,734	
市民団体連携事業	47,047	
事業費小計	2,092,225	
2 管理費		
通信費	22,432	
旅費交通費	150,845	
広告宣伝費	2,000	
交際費	1,596	
会議費	12,157	
消耗品費	17,979	
租税公課	35,000	
賃借料	11,424	
管理費小計	253,433	
経常支出合計②	2,345,658	
当期収支差額	③=①-②	265,444
前期繰越収支差額	④	359,226
次期繰越収支差額	③+④	624,670

2008年その他事業会計 収支計算書

2008年1月1日～2008年12月31日

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

該当事項なし